

# のびのびリング

<http://www.yuzuriha.or.jp/> 編集発行：医療法人協治会 杠葉病院 ☎095-878-3734

2016  
**春**  
第10号



香焼地区に咲くチューリップを撮影

杠葉病院は、大正13年に創設された精神科の医療機関です。  
長崎市南部の緑豊かな環境の中、地域に根差した医療を心がけています。  
職員一同、「患者様本位の医療と看護」の理念に基づいた人間的温かみのある  
医療サービスの提供に努めます。

## 病 院 理 念

### 患者様本位の医療と看護

#### 基本方針

- 一、人間としての尊厳と生活の質を重視した思いやりのあるケアの提供
- 二、地域社会との連携を目指した医療・看護サービスの提供
- 三、職員の専門知識の向上による医療・看護の充実

# 平成28年度の抱負

～作業療法課より～

早いもので私が紅葉病院に入職して 12 年を迎えようとしています。その間にも、当院の患者様も随分様変わりをしてきているなど感じています。

紅葉病院は長崎でも長い歴史を持つ精神科病院がありますが、ご多分に漏れず、世間が抱く旧態依然のネガティブなイメージを強く持たれているのが現状です。だからこそ「地域に開かれた顔の見える病院」へ病院全体で取り組み、今まさに変革しつつ時期にあるのではないかと感じております。

その一例が病院祭「ゆず祭り」であり、地域の方々も年々遊びに来て下さる方が増えてきている状況です。

また県下でも先駆的な取り組みとしての「出張相談事業」を平成 26 年 6 月より開始し、地域に直接出向く活動をおこなっております。これらを通して紅葉病院は「地域に在る・貢献できる病院」を目指していきたいと考えております。

そして昨今、紅葉病院には認知症高齢者の入院が増え、患者様も益々高齢化が進んでいる状況で、高齢化の問題としては転倒・骨折があり、当院ではそ

作業療法課課長 作業療法士  
前園 健之



の対策の一つとして、作業療法による運動活動の強化を挙げました。高齢者や歩行不安定者等を対象に転倒予防の為に運動活動を取り入れ、身体リハビリや運動リハの取り組みを考えております。

また地域に根差し貢献できる病院として、出張相談事業の次のステップとして、「地域に暮らす高齢者が誰でも気軽に集える場所作り」に取り組む予定であります。これからの地域医療や介護予防に根差した「地域包括ケアシステム」、地域住民の自助・互助のお役にたてれば、そんな思いで「集いの場」作りを進めていきたいと考えております。そこから、地域の自助グループ発足に向けた足掛かりになればと思います。

追伸…こんな思いは、私が長崎県作業療法士会の生活行為向上マネジメント推進委員でもあり、介護保険二次予防事業（認知機能向上事業）に講師として関わっている、色んな立場から今後はどんどん地域に貢献できればと思います。

## 部署紹介

# 安全で満足度の高いお食事の提供を！

## 「栄養課」紹介

栄養課は、病院管理栄養士 2 名、日清医療食品栄養士 2 名、調理師・調理員 15 名で構成されています。

栄養課では、入院患者様の病状に応じた、安全で美味しい食事の提供が出来るよう努めており、適時適温配膳、異物混入対策、衛生管理の徹底を日々行っております。また、入院患者様一人一人の状態に合わせた栄養管理計画書を作成し、定期的に再評価を行い、栄養指導を行った上で、医師と相談の元計画を変更していく、という栄養管理を行っております。

また、摂食・嚥下リハビリテーション委員会と共に、入院患者様の誤嚥事故防止、食べやすい食事の提供にも力を入れております。最近では、精神科病院で最も誤嚥事故の多い、パンについて、医師の許可制を採用し、嚥下機能を確認した上でパンの提供を行うことになりました。その他にも、患者様にとって最適な病院採用付加食の検討、ハーフ食の採用を行ってきました。

管理栄養士 島田 麻美子



毎年、年 1 回の嗜好調査をおこなっており、病棟訪問の際に聞かれる食事へのご意見など、患者様へ満足した病院食を提供できるよう日々、努力を続けております。今後も些細なことでもご要望に沿えるよう、また、安全で満足度の高いお食事の提供が出来るように、これからも、努めてまいります。



◀左から島田、森



# 認知症地域連携セミナー (H28.新春)

## 開催いたしました

平成 28 年 1 月 20 日 (水)、19:00 ~ 紅葉病院 B 棟ホール 1F にて、今回で第 5 回目の開催となった『認知症地域連携セミナー』が開催されました。当日は、寒い中でしたが約 70 名もの関連機関関係者の方々に参加して頂きました。セミナーでは、まず、田中先生より、歯科医からの立場で認知症の方への関わりの仕方を話して頂き、葉室先生からは、認知症専門医からの立場で、認知症の周辺症状に対する薬の使い方など、より具体的にかつ分かりやすく説明をして頂きました。

また、セミナー終了後には懇親会が行われ、関連機関の方々と、直接、顔を見ながら会話ができ、情報交換も交わすことができ充実した懇親会となりました。



### 演題1 「薬、上手に飲ませていますか？ 服薬と口腔ケアの意外な関係」

歯科医 田中隆一



#### 認知症の方の服薬と口腔ケアの関係として

- 日頃から、嚥下機能の向上を図る
- 口腔内や入れ歯の清掃をかかさない
- 投薬した後、口腔内に薬剤が残留していないか、毎回確認する  
(特に口腔前庭や下顎の入れ歯の裏側が、要注意)



### 演題2 『認知症の周辺症状に対する薬の使い方』 ～処方箋からのメッセージ～

精神科 認知症専門医 葉室 篤



#### 認知症の周辺症状の重症度の傾向として

- (軽度) 抑うつ状態
  - (中度) 妄想
  - (重度) 暴力・徘徊など
- の症状が見受けられる傾向がある



#### 認知症の周辺症状に対する薬の使い方として

- 下げる (気持ちを下げてあげる)
- 大波を小波に (気持ちの上下を小さく)
- 上げる (気持ちを上げてあげる)



## 職員活動

### 新春音楽祭 開催しました

平成 28 年 1 月 27 日(水) 14:00～紅葉病院 B 棟ホール 1F にて、「新春音楽祭」を初開催致しました。今回、職員が中心となり、歌や踊り、楽器の演奏などを患者様へ披露しました。音楽祭では、葉室医師の歌や三線を使った演奏に病棟職員の琴の演奏、日本舞踊などの踊りもありました。最後には、作業療法課の職員で「世界に一つだけの花」を歌い、患者様と職員が音楽を通じて一つになり、とても充実した音楽祭となりました。



葉室 Dr の三線の弾き語り



松森 OT とデュエットで歌の披露!!

各職員の琴の演奏や日本舞踊、歌の披露とおおいに会場が盛り上がりました



### 平成 28 年 新春音楽祭

#### プログラム

1. 開会挨拶
2. 琴の演奏
3. 葉室 Dr. 桜花 Dr. 共演
4. ジャズ演奏
5. OT 出しもの
6. おしるこ、スープ

### 三十三間堂全国大的大会 (通し矢) に参加してきました

三十三間堂通し矢が今年は 1 月 17 日(日)に三十三間堂(蓮華王院)特設会場にて開催されました。三十三間堂通し矢は江戸時代に武士が弓の腕を競いあったことが始まりとされています。当時は 120m の長さの距離で的に当たった本数で競いあったとされていますが、今では 60m の長さで競います。この通し矢にはその年の新成人(20 歳)だけの特権でほとんどの人が一生に一度しか立てないので全国から参加されます。振袖姿など晴れ着姿で弓を引く光景は大変すばらしいものがあります。

当院弓道部で桜花病棟介護士栗林さんが今年新成人で参加してきました。競技成績は振るわなかったようですが、貴重な経験をしてきたようです。新成人とし

て、そして社会人として身も心も引き締まる思いだったでしょう。これからの介護士としても、弓道人としても活躍を願っています。

紅葉病院 弓道部 桜花病棟 若浦雄也



写真中央(栗林)

### ゆず春まつり開催のお知らせ

平成 28 年 5 月 21 日(土)、紅葉病院グラウンド(雨天時、紅葉病院 B 棟ホール 1F)にて「第 11 回ゆず春まつり」を開催いたします。例年同様、院内・院外からの模擬店の出店、ステージ上では職員や外部ボランティアの皆様からの出し物やゲームなど、盛り沢山の催し物を準備しております。また、地域の方々の来場も年々増えてきております。今年も地域の皆様のご参加をお待ちしております。





# 「准看護師育成講座」活動報告

## 長崎市医師会看護専門学校准看護科に 3 名



当院では、看護師・准看護師の育成を目的に独自の取り組みとして、准看護師育成講座を開講しています。この講座は、介護士として勤務する方を対象に看護学校合格を目指し、月に 4～5 回日勤勤務終了後に勉強会を行っています。内容としては受験に必要な、国語、数学、面接実技とすべてをカバーしており、受講生個々の能力に合わせて授業を行っています。この講座をはじめから 7 年になりますが、すでに 2 名が当講座を卒業して准看護師として現場で活躍しており、今年、そして来年度も新たな准看護師が誕生する予定です。

今年は受講生 3 名が長崎市医師会看護専門学校准看護科を受験し、見事全員が合格しました。全員が合格したことは今回が初めてですが、これで 4 年連続で合格者を出していることとなります。

学生に対する病院の支援も手厚くなってきており、経済状況などにより、勤務の都合など相談に

乗ってくれています。看護学生を抱える病院は多数あると思いますが、看護師になりたいという希望をかなえるために、看護学校受験に向けてここまで支援をしている病院は他にはありません。働きながら介護そして看護を学び、資格取得後に即戦力として勤務していただけることが強みです。少しでも興味のある方はぜひご相談ください。

教育委員会 准看護師育成講座担当 桜花病棟 若浦雄也



## 合格者の声



山口 雅浩

この病院では看護師育成の為に、看護学校受験対策として勉強会があると聞き入職しました。私は、昨年 8 月に入職し、試験まで 5 ヶ月と短い時間でしたが、若浦講師よりこれまでの試験内容に沿って詳しく勉強を教えて頂き、見事、合格することができました。これまでの勉強を無駄にしないよう、これからもしっかりと頑張っていきたいと思っています。



西川 真美

1 年間を通して、基礎から講義を行って頂き、無事に合格することが出来ました。基礎の基礎から教えて頂き、苦手分野も個別に指導して頂いたので学ぶことにランクがあっても安心して講義についていくことが出来ます。これから、頑張っていきたいと思っています。



## 「出張相談」いたします ～こころのなぜひいていませんか？～

「最近、眠れない」「毎日、ゆううつで何もしたくない」「仕事でのストレスで体調がすぐれない」  
「最近、親が物忘れがひどくなった」等、誰にも悩みを話せない・・・でもどうにかしたい！  
そのような悩みがあれば、私たちからご自宅等へ出向きお話を聞かせて下さい。  
一緒にお悩みを共有しながら、「こころの元気」を取り戻すお手伝いをさせて下さい。

※まずは、お気軽にお電話下さい。(相談内容によっては、お引き受けできない場合もございますのでご了承ください。)



### 連絡先

電話受付：平日（月～金）（10:00～16:00）（予約制）

お問い合わせ：（095）878-3734 事務総務課 担当：吉田形（よしだがた）、地域生活支援課 担当：富永

## 地域生活支援課からのお知らせ

### ～患者様とご家族の方へ～

外来受診や入院相談に関しては、  
地域生活支援課のソーシャルワーカーが対応します。  
ささいな事でも構いませんので、お気軽にご相談ください。

### ～医療機関および施設の方へ～

地域医療連携の窓口として  
「地域生活支援課」が、お話をうかがいますので、  
ぜひご利用ください。

受付時間：8:50～17:10 電話 **095-878-3734** (代表) ファックス **095-878-3289** (代表)

### 診療科目

精神科・心療内科・内科・歯科・  
歯科口腔外科・矯正歯科

### 病床数

355床

### アクセス

#### 長崎バス

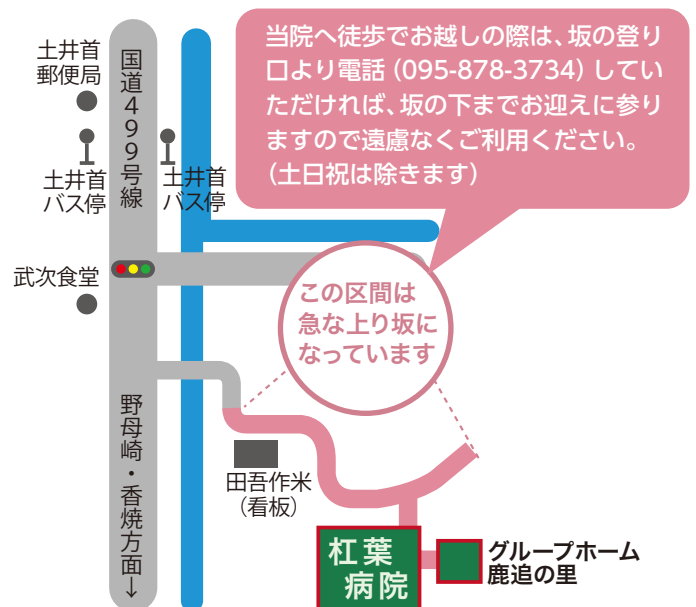
30番系統に乗車（深堀・香焼・野母崎方面行き）  
土井首バス停下車 徒歩およそ10分

#### クルマ

国道499号下り線土井首バス停の次の信号の先を左折  
（田吾作米の看板が目印）  
長崎駅・大波止ターミナルからは、野母崎・香焼方面に向け  
国道499号線沿いをおよそ30分走行

### 駐車場

100台



当院へ徒歩でお越しの際は、坂の登り口より電話（095-878-3734）していただければ、坂の下までお迎えに参りますので遠慮なくご利用ください。（土日祝は除きます）

この区間は急な上り坂になっています

田吾作米  
（看板）

杠葉病院

グループホーム  
鹿追の里

## 医療法人協治会 杠葉病院

〒850-0975 長崎県長崎市三和町413番地

杠葉病院

検索

<http://www.yuzuriha.or.jp/>

**TEL 095-878-3734** **FAX 095-878-3289**

編集

いよいよ平成28年度が始まり、少しずつ地域の関係機関の方々とも「顔の見える関係」ができて始めてきました。

後記

今年度は、さらに「一歩」を踏み出し、地域に貢献していきたいと思えます。